



Twitter



YouTube

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

# KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail: gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

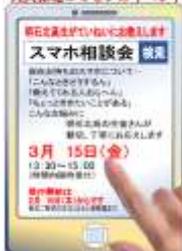
No. 269

2024

3.22

## 大久保北中学校コミュニティ・センター 明石北高生による“スマホ相談会”

大久保北コミセンのイベント



3月15日(金) 13:30~大久保北コミセンで明石北高生による“スマホ相談会”が開催されました。北高の生徒さんが参加者からのスマホの使い方についての質問・悩みにお答えしようというものです。マニュアル持参でこられている方、尋ねることをまとめてこられている方など、参加者のみなさんの学ぼうという姿勢に私自身だけでなく、相談にのっている高校生が一番刺激を受けたのではと思います。ほぼマンツーマンでの相談でしたが、予定していた1時間30分があっという間に過ぎていきました。中には



スマホの相談が、ひと段落ついたらペットの話で盛り上がるなど50歳近くの年の差が一気に縮まるのを目の当たりにしました。参加者は帰られるとき、皆さん満面の笑顔で“楽しかった”、“本当にいてねいに、やさしく教えてもらった”、“次もまた絶対にやってよ”等企画されたエリアマネージャーさんに声をかけられていました。中には高校生から「小学校の時に



スクールガードでお世話になりました」と言われたとエリアマネージャーさんに報告される方もおられ、多世代がつながり、交流していく場がこれからはますます必要になってくるんだと感じました。参加された皆さんにとって、とても素敵な時間だったのではと思います。

また、大久保北コミセンさんでは夏には大久保北中学校科学クラブとコラボして、“夏休み親子実験教室”を開催されていますが、3月22日(金)には、大久保北中学校英語部とコラボして「英語で俳句を楽しみましょう」を開催されます。どんな俳句が出来上がるのか楽しみです。また、教室の様子を報告させていただきます。

## 鳥羽小学校第6回学校運営協議会“とばラボ” 2040年ってどんな時代



3月15日(金)に鳥羽小学校で「第6回学校運営協議会“とばラボ”」が開催されました。今回は今年度の最終回ということで1年間を振り返るショートムービーを紹介されました。その後先日、先生方でおこなった未来を生きる子どもたちにとって必要な力についての対話を受け、先生方と委員さんとの対話をおこないました。対話に先立って学校側より、今の子どもたちが大人になっている15年後の「2040年ってどんな時代なんだろう」と話題提供がありました。その中で、この15年での携帯電話の3G⇒4G⇒5Gと通信速度の進歩を通

側より、今の子どもたちが大人になっている15年後の「2040年ってどんな時代なんだろう」と話題提供がありました。その中で、この15年での携帯電話の3G⇒4G⇒5Gと通信速度の進歩を通



して社会の急激な変化を実感し、2040年の未来を生きる子どもたちに思いを馳せながら、これから培っていかねばいけない力について対話がおこなわれました。先生方も学校運営協議会委員さんも同じ土俵で未来を生きる子どもたちについて対話が深まったのではと思います。この対話をベースに新年度に向けての学校教育目標等の見直しがおこなわれるようです。

通信速度の話聞きながらウィンドウズ95のパソコンを買った頃のことを思い出しました。その頃まだまだワープロが主流で先生間でも使っているメーカーが違くとデータが使えないといった時代でした。そんな中でパソコンは画期的なツールでしたが、今を、ウィンドウズ95にたとえてみると、学校だけでなく社会全体がウィンドウズ95みたいなもので、今の時代には適していないプラットフォームで現在の様々な課題に対応しようとしているのではと考えてしまいました。「適さないものをまだ動くと思って、無理やり動かそうとしている状況が、現状なのは？プラットフォームを更新していく必要があるのでは？」と考えてしまいます。トヨタのCMではありませんが、「肩書でなく役割で仕事を、どんな立場でも物が言える」といった対話がプラットフォームを更新していくことにつながると、今回参加しながら考えていました。新年度、鳥羽小学校の対話がどんな対話に発展していくか楽しみです。

## タウンミーティング「まるちゃんカフェ」 朝霧エリアが開催されました



3月16日(土)にあさぎり福祉センターで“「まるちゃんカフェ」朝霧エリア”が開催されました。定員の50名のところ60名を超える参加者で対話が行われました。丸谷市長の挨拶で“2つの「そうぞう力」を使う”というスライドがありました。“2つの「そうぞう力」”は私もこれまで子どもたちに「想像することができるから、創造的になれる、だから“思い付く”のは普段から考えているから」とこれまで自分が使っていたフレーズと重なっているのにびっくりしましたが、想像力を働かせ創造的に物事を考えていくのがタウンミーティングという対話の場なんだと再認識することができました。参加者は朝霧、松が丘のまちづくり協議会のメンバーの方、介護や清掃活動等様々なボランティア活動に携わっておられる方などを含め広く地域

住民が集まっているといった感じを受けました。様々な立場から、様々な意見が出てまとまらないのではと思いましたが、朝霧地区が抱えている課題から出発した意見だけに、どれもが繋がっているように感じました。各グループの“えんたくん”を見る中で、コミュニティ・スクールと書かれているグループがいくつかあったのには正直びっくりしました。松が丘小学校や朝霧小学校がモデル校として取組んできたことが、地域の中で広がりつつあるのかなと、うれしくなっていました。しかし、それ以上にうれしかったのが、スクールガードで立っている時に毎朝顔をあわせる子が親子で参加してくれていたことです。自分たちがプロジェクトで考えたこととこの場での対話がつながってくれたらいいなと思います。こうした場に小・中学生が普通に参加してくることがコミュニティ・スクールが地域に根付いたことになるんだろうなと思います。(文責：北本)

